

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024年11月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

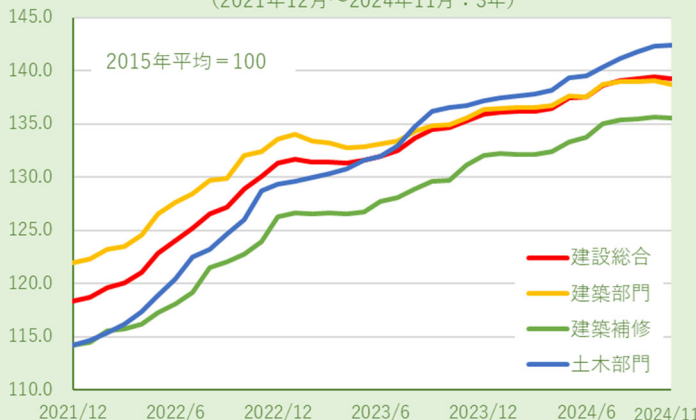
1. 指数の動向（全国平均）

11月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**139.2**となり、前月比-0.1%(-0.2ポイント)と**19カ月振りの下落**となった。前年同月比では+3.0%(+4.0ポイント)となった。

部門別では、**建築部門**が**138.7**となり、前月比-0.3%(-0.4ポイント)と**5カ月振りの下落**となった。前年同月比では+2.3%(+3.1ポイント)となった。**建築補修**は**135.5**となり、前月比-0.1%(-0.1ポイント)と**8カ月振りの下落**となった。前年同月比では+3.3%(+4.4ポイント)となった。**土木部門**は**142.4**となり、前月比+0.1%(+0.1ポイント)と**2020年5月以来54カ月連続の上伸**となり、**最高値を更新**した。前年同月比では+4.2%(+5.7ポイント)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年12月～2024年11月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【農産物】花き・花木類

人件費等の生産コスト及び輸送コストの増加などから樹木類が上伸し、指数動向のプラスに寄与

【電気機械】電気照明器具

電子部品等の調達費用上昇分を製品価格に転嫁したメーカーの値上げが浸透し、指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

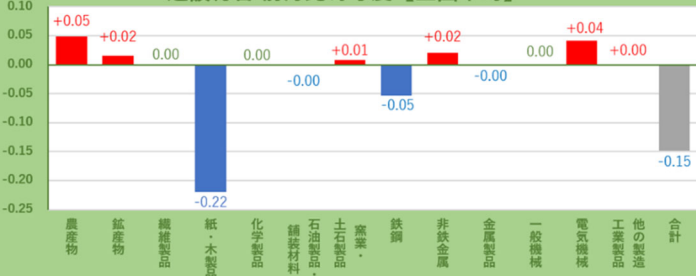
【紙・木製品】製材

木造住宅需要の低迷から木材需要も低下し、販売店間の価格競争の激化が指数動向のマイナスに寄与

【鉄鋼】普通鋼小棒

長引く需要低迷を背景に、数量確保を目的とした販売店の値下げ競争が拡大し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

緑化樹木類や電気照明器具などの、コスト転嫁による価格上昇が見られる一方、木材や合板類、棒鋼類は需給バランスの崩れにより価格が下落した。その結果として、多くの都市で指数はマイナス傾向となった。

唯一プラスとなった**【札幌】**(前月比+0.0%)では、緑化樹木類や木材、棒鋼類の価格に変動が見られなかった。一方で、セメント価格が上伸し、燃料油価格が下落するなど、他都市とは異なる市況動向を示した。

変動が最も大きかった**【大阪】**(同-0.2%)では、資材価格の動向は他都市と類似していたものの、それぞれの変動率が大きく、特に鋼材価格の下落がマイナスに大きく影響した。

各地の建設総合部門の指数【11月分】

都市	指数	前月比	前年同月比
全国平均	139.2	-0.1%	+3.0%
新 潟	136.1	-0.2%	+3.1%
札 幌	140.3	+0.0%	+3.5%
広 島	137.2	-0.2%	+2.7%
大 阪	142.7	-0.2%	+2.4%
福 岡	140.6	-0.2%	+2.6%
那 覇	138.1	-0.2%	+2.7%
高 松	145.7	-0.2%	+2.5%
名古屋	140.7	-0.1%	+3.5%
仙 台	134.8	-0.1%	+3.1%
東 京	138.9	-0.1%	+3.0%



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp